

2期8年間の市政運営の総括は

厳しい財政状況乗り越えた知識、知恵や経験が何よりの成果

市民クラブ代表質問 一括質問一括答弁方式



彦坂 久伸 議員
市民クラブ

■施政方針について

問 2期8年間の市政運営の総括は。

答 リーマンショック後の厳しい財政状況乗り越えた知識、知恵や経験が何よりの成果である。今後、大きな社会経済情勢の変化があっても、経験を生かした着実なまちづくりを進めることができる。

問 「限界集落」などの地域課題と人口ビジョンへの取り組みは。

答 人口増加施策に取り組みながら、地方創生に連動して策定する人口ビジョン・総合戦略において、地域の実態を加味した施策の検討を行う。

問 本市の医療環境の課題にどう立ち向かうか。

答 地域包括支援センターの窓口増設、渥美病院の高度

医療機器等導入支援のほか、医師確保修学資金等貸与事業の充実を図り、マンパワーの確保に努める。

■教育方針について

問 小中学校の適正規模の基準は120人以上でよいか。

答 クラス替えができる規模が望ましいが、学校の現状を考慮し、子ども同士が学び合え、社会性が身につく数として1学級20人、小学校の最低規模を120人とした。

問 任期を残して教育長の職を辞する理由は。

答 学校改革、教育改革に一定のめどがついた。また、新教育委員会の制度改革は、首長と教育長が新たな関係構築を築く歴史的な改革。「新しい酒は新しい革袋に」ということわざに従うべきと判断した。

プレミアム付き商品券発行の考えは

夏をめどに商工会が発行する

一問一答方式



辻 史子 議員
公明党田原市議団

■地方創生戦略の推進について

問 田原市版総合戦略は、どのように策定されるのか。また、具体的にどのような事業に取り組むのか。

答 国の支援メニューを活用しながら、本市の特性に応じた総合戦略を策定する。総合計画の理念の実現に向け、人口減少対策を包含する全分野の取り組みを進めている。

問 出産・育児をしやすい環境の整備として、日本版ネウボラ(子育て世代包括支援センター)の設置は。

答 先進地の取組状況を調査研究し、相談しやすい体制づくりに取り組む。

■地域住民生活等緊急支援のための交付金活用について

問 消費喚起効果が高いプレミアム付き商品券の発行の考えは。

答 夏ごろをめどに、田原市・渥美商工会が発行する。市はプレミアム分及び発行事務に関する経費を国の交付金を活用して支援する。

■いじめ防止の取り組みについて

問 市いじめ防止方針による取組状況は。

答 方針に子どもたち自身のメッセージを盛り込んだほか、各学校の特色を踏まえた方針を策定し、小さなサインを見逃さないように対応している。



いじめ相談手紙ボックス

問 いじめ防止組織には外部の専門家の参画はあるか。

答 必要に応じて参画していただこうと思っている。